

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

No	施策体系				事業名	実施主体	事業概要	重点項目 別紙1参照 (23ページ)				R3年度事業内容 (実績)	評価指標				※新型コロナ ウイルス感染症 の影響	成果と 今後の課題	課名
								ア	イ	ウ	エ		指標名	令和2年度 実績	令和3年度 実績	評価			
1	IV	1	(1)	エコホテルの利用促進事業	市	南部クリーンセンターで施設見学、親子リサイクル工作会、環境パネルの展示、環境啓発DVDの視聴などを実施する。	○	○			・親子工作会を8回実施。 ・親子見学会を13回予定していたが、1回実施(12回中止)。 ・親子工場見学会を1回実施。	エコホテル利用者数	2,203人	3,205人	A	有	令和3年度は前年度に比べ、利用者数は増えているものの、新型コロナウイルス感染症の拡大により、親子見学会を中止するなどの影響もあった。 令和4年度についても、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら利用者数増加を目標とし環境学習事業を実施する。	南部クリーンセンター	
2	IV	1	(1)	伝統的ものづくり夏休み親子体験教室	市(伝統的ものづくり関係事業者へ体験教室の委託)	親子で本市の伝統的ものづくりへの理解と関心を深め、普及啓発を図ることを目的とし、夏休みの宿題解決や子どもと大人と一緒に地域の伝統的ものづくりにふれあい、学ぶ体験の場にすると同時に、シックプライドの醸成につながる場を創出する。	○				夏休みの期間中、市内在学の小学生親子を対象に、伝統的ものづくりの職人等を講師として、保多織、盆栽、讃岐かがり手まり、組手障子、讃岐のり染の体験教室を開催した。 開催講座 5コース(各午前午後2回) 参加者数 253名 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、6コース開催予定のところ、1コースは中止となった。	参加者数	161名	253名	A	有	参加者への満足度調査では、事業開始以来最高となった昨年度に次ぐ高い評価となり、「初めて知った」「楽しかった」との声もあふれたことから、伝統的ものづくりにふれあい、学ぶ体験の場とすることができ、理解や関心を深めることができた。 アンケート結果を基に改善し、継続開催することによって、高松市の伝統的ものづくりへの理解と関心を深め、普及啓発を進めるとともに、人づくりの推進も図る。	産業振興課	
3	IV	1	(1)	夏休み市場DE自由研究事業	中央卸売市場運営協議会	市場見学等により、生鮮食料品等に触れる機会の提供、市場の機能や流通システム等について学習する。		○			当日受付で検温及び手指消毒の実施、マスク着用の励行、例年行っていた試食を取りやめる等の感染防止対策を講じたほか、規模を半分に縮小して事業を実施した。	参加者数	-	花き部：7月22日7：30～10：30 参加者数：12組24人 青果部：7月23日6：30～9：30 参加者数：14組29人 水産物部：7月31日5：45～9：00 参加者数：14組32人 計3回40組85人で開催	A	有	令和3年度は、参加人数を減らす等、新型コロナウイルス感染症対策を講じて事業を実施した。 令和4年度においては、引き続き感染症対策を講じながら、回数を各回2回に増やして実施する予定。	市場管理課	
4	IV	1	(1)	親子文化財教室	市(高松市文化財保護協会共催)	小・中学生と保護者を対象に、年2回、郷土の歴史・文化財を学習し、文化財を身近に学ぶ機会を提供する。		○			「丸亀うちわを作ろう！」8/5 「しめなわがざりを作ろう！」12/18	参加人数	84人	138人	A	有	令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、広い会場で定員を収容人数の50%程度としたが、午前・午後の2部制を取り入れたため、前年度以上の実績を保つことができた。 令和4年度についても、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施する予定。	文化財課	

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

No	施策体系				事業名	実施主体	事業概要	重点項目 別紙1参照 (23ページ)				R3年度事業内容 (実績)	評価指標				成果と 今後の課題	課名	
								ア	イ	ウ	エ		指標名	令和2年度 実績	令和3年度 実績	評価			※新型コロナ ウイルス感染症 の影響
5	IV	1	(1)	香南歴史民俗郷土館子ども講座	市	香南歴史民俗郷土館で、夏休みを中心に、郷土の歴史文化を体験する、子ども講座を開催する。					「ダンボールで獅子頭をつくらう」(7/23) 「手習草紙(書道教室)」(7/27)	参加人数	2講座 21人	2講座 26人	A	有	前年度より参加者は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの講座が開講できない状況が続いており、従来の参加者数の回復には至っていない。今後も講座内容の充実や積極的な広報活動に努めていく。	文化財課 (香南歴史民俗郷土館)	
6	IV	1	(1)	夏休み子ども歴史講座	市	小中学生を対象に、夏休みの自由研究として郷土の歴史をテーマに調査研究できるよう、夏休み子ども歴史講座を開催する。					「むかしの高松～寺町を巡ろう～」(7/30・31)	参加者数	22人	26人	A	無	好評であり、前年度を上回る参加者であった。今後も講座内容の充実や積極的な広報活動に努めていく。	文化財課 (歴史資料館)	
7	IV	1	(1)	子どもわくわく体験支援事業	実施団体 (補助)	子どもの創造力や積極性・社会性を育む機会として、市内の自然・歴史・町並み等を活用した体験活動を実施する団体等への助成を行う。					3件申請があり、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら実施した。	実施団体数	0団体	3団体	A	有	令和4年度より事業廃止	生涯学習課	
8	IV	1	(1)	新春子どもフェスティバル	市	毎年2月第1日曜日に中央公園を中心に、校区対抗「かるたとり・ドッジボール・すもう大会」、自由参加の創作コーナー等多彩なプログラムで開催する。					新型コロナウイルス感染症の影響によりフェスティバルは中止。市内の小中学生に絵札、読み札を募集し「高松わくわくかるた」を作製した。	参加人数	-	-	D	有	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。令和4年度については、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施する予定。	生涯学習課	
9	IV	1	(1)	子ども会フットベースボール大会	市	子ども達がスポーツを通して交流し友情を育む機会として、校区子ども会を対象にフットベースボール大会を開催する。					新型コロナウイルス感染症の影響により中止	参加校区数	-	-	D	有	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。令和4年度については、開催時間を短縮する等、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施する予定。	生涯学習課	
10	IV	1	(1)	高松・嶺北子ども交歓会	市	市の水源地である早明浦ダム周辺・嶺北地域の子も達と市の子も達が交流し、水の大切さや有効利用を学び、集団活動を通して友情を育む機会として、交歓会を開催する。					新型コロナウイルス感染症の影響により中止	参加者へのアンケートによる満足度	-	-	D	有	令和4年度より事業廃止	生涯学習課	
11	IV	1	(1)	少年団体育成事業	市	校区子ども会育成連絡協議会相互の連携を図り、子ども会活動の充実と子どもの健全育成のため高松市子ども会育成連絡協議会の運営を支援する。					高松市子ども会育成連絡協議会に対し、運営補助金を交付。	子ども会加入率	69.4%	67.7%	B	無	子ども会加入率について、前年度を少し下回った。新型コロナの影響下にあっても、高松市子ども会育成連絡協議会の自主運営による子ども会活動の加入促進が図れる支援方法を検討する必要がある。	生涯学習課	

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

No	施策体系				事業名	実施主体	事業概要	重点項目 別紙1参照 (23ページ)				R3年度事業内容 (実績)	評価指標				※新型コロナ ウイルス感染症 の影響	成果と 今後の課題	課名
								ア	イ	ウ	エ		指標名	令和2年度 実績	令和3年度 実績	評価			
12	IV	1	(1)	子ども会育成指導者養成事業	市	各校区の子ども会リーダー・育成者を対象に、子ども会活動に必要な実技指導の講習会を開催する。					新型コロナウイルス感染症の影響により、指導者講習会は1度の実施。 指導者講習会 【第1回】 実施時期：令和3年11月27日 実施場所：香南アグリーム 実施内容：餅つき体験、ハーブでオイル・ソルト作り体験 育成者数：4人	参加校区数	0校区 (中止のため)	3校区	A	有	令和3年度も令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、ほとんどの活動が中止になってしまった。感染防止対策を取りながら、活動を実施する方向で検討を進めていく必要がある。	生涯学習課	
13	IV	1	(1)	地域活動促進事業	市	地域における子ども活動の充実・拡大のため、子ども会や育成会が実施する研修会や事業に、専門的な指導・助言を行う指導員を派遣する。					派遣時間：2時間 派遣回数：1回 2件申請があったが、新型コロナウイルス感染症の影響によりうち1件中止	申請件数	0件	1件	A	有	前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により申請数は2件でと少なく、うち1件は中止となった。 令和4年度についても、感染症対策を講じて実施ができるよう周知方法を検討していく必要がある。	生涯学習課	
14	IV	1	(1)	青年活動推進事業	市	青年活動の振興を目指し自主的に活動する市青年連絡協議会への助成と、青年教育振興のため協議会へ参画する。					市青年連絡協議会への運営支援として補助金を交付。 協議会等の会合は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため書面にて開催。	会員数	10人	10人	A	無	会員数は前年度から変化なし。 新型コロナウイルス感染症の影響で行事が軒並み中止になった。今年度も同様の状況が考えられるが、感染対策の徹底等の方策を検討する必要がある。	生涯学習課	
15	IV	1	(1)	職場体験学習	小中学校	児童生徒の実態や発達段階に応じて、社会体験・職場体験活動等を通して、望ましい勤労観・職業観を育む。					新型コロナウイルス感染症の影響で、授業時数の確保や学校行事の見直しにより、職場を訪問しての体験活動は実施されなかった。事業所から人を派遣していただき、講話を聴く活動を実施した学校が数校ある。	実施学校数	中学校0校（全23校） 0% (訪問実習校数)	中学校0校（全22校） 0% (訪問実習校数)	D	有	新型コロナウイルス感染症の影響で、事業所等への訪問は、次年度も実施が困難であると思われる。事業所や校区の人材を活用した講話など工夫した取り組みで、事業継続したい。	学校教育課	
	I	1	(2)																
16	IV	1	(1)	年長児童の赤ちゃん・出会い・ふれあい事業	市	次代の親づくりとして、命の大切さや家庭の役割等について理解を深めるため、年長児童が乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を開設する。					Web会議サービスを使用したオンライン形式やDVDの視聴も含め、12校の中学校がふれあい体験事業を実施した。 ○実施中学校 桜町、紫雲、玉藻、高松第一、屋島、勝負、一宮、香東、山田、古高松、木太、香川第一	実施学校数	-	12	A	有	令和3年度は参加者の安全を考慮し、オンライン形式等での実施に切り替え、事業を再開した。 新たな実施方法について、一定の成果は上がっているが、参加者・事業実施団体からは従来の直接的なふれあい体験を望む声があるため、令和4年度は更なる感染症対策を講じた上で、直接的なふれあい体験の実施について検討する。	子育て支援課	
	I	2	(10)																
17	IV	1	(1)	保育所・幼稚園等への芸術士派遣事業	市(委託)	子どもの感性や創造力を育むため、保育所・幼稚園等に芸術士を派遣し、日々の保育の中で、絵画や造形、音楽など様々な表現活動を行う。					実施施設 保育所・こども園 57施設 幼稚園 16施設	実施経験施設数	85カ所	89カ所	A	有	実施している施設についてアンケート調査を行っているが、概ね高評価である。 令和3年度実施分からは希望している施設全てに派遣を行なった。	こども保育教育課	
	I	2	(10)																

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

No	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	重点項目 別紙1参照 (23ページ)				R3年度事業内容 (実績)	評価指標				成果と 今後の課題	課名	
							ア	イ	ウ	エ		指標名	令和2年度 実績	令和3年度 実績	評価			※新型コロナ ウイルス感染症 の影響
18	IV	1	(1)	伝統的ものづくり学校巡回教室	市（伝統的ものづくり関係事業者へ体験教室の委託）	高松市の伝統的ものづくりに関する理解と関心を深める普及啓発、人づくりの推進を目的とし、地域の伝統的ものづくりにふれあい、学ぶ体験の場であると同時に、未来を担う小中学生のシビックプライドの醸成・職業選択につながるもの、場を創出する。	○				伝統的ものづくりを行う職人を市内の小中学校へ派遣し、生徒が職人（番川漆器・庵治石・盆栽）の話を聞いたり、実際に作品を見たり簡単な体験をしたりする場をした。 訪問校 3校 生徒数 147名 生徒数は昨年実績から大幅に減少しているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響によるものではなく、実施校の生徒数が少なかったためであり、計画通り3校での開催はできている。	参加者数	262名	147名	C	無	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の対策を行い、予定どおり3校で実施した。 児童生徒の感想には、初めての体験で「ドキドキワクワクして本当に楽しかった」、職人の技を直接見て「強い思いを感じた」とあり、地域の伝統的ものづくりにふれあい、学ぶ場を提供するとともに、地域への「誇り」や「愛着心」の醸成に寄与することができたと考えられる。 なお、本事業は、令和3年度をもって中止となる。	産業振興課
	I	2	(10)															
19	IV	1	(1)	サンクリスタル学習	市	主に小学校6年生を対象に、歴史資料館・菊池寛記念館・中央図書館での体験学習「サンクリスタル学習」を実施する。	○				主に小学校6年生を対象に、歴史資料館・菊池寛記念館・中央図書館での体験学習「サンクリスタル学習」を実施した。 期間：6月～2月	実施校数	10校	22校	A	有	前年度より参加校は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、従来と比較すると参加校は依然少ない状況である。今後も感染症対策を十分に講じた上で、事業の充実に努めていく。	文化財課 (歴史資料館 菊池寛記念館 中央図書館)
	I	2	(10)															
20	IV	1	(1)	美術館学習	市	子どもたちが豊かな感性と未来の鑑賞者としての資質を育むため、美術館での鑑賞・施設学習を実施する。	○				子どもたちが豊かな感性と未来の鑑賞者としての資質を育むため、美術館での鑑賞・施設学習を実施した。	美術館学習参加者数	参加校 5校 延べ参加者数 212人 (引率者含む)	参加校 22校 延べ参加者数 1,282人 (引率者含む)	A	有	新型コロナ感染症の影響により、来館を予定していたが中止になった学校が8校あったが、新型コロナ感染症の影響が少ない学外活動としての利用が増え参加人数は回復した。今後、同事業の感染症等への対策を講じながら、実施を続ける。	美術館美術課
	I	2	(10)															
21	IV	1	(1)	まなびCANこども教室	市	生涯学習センターにおいて、ボランティア講師による、小・中学生を対象としたものづくりや環境問題等の講座を開催する。	○				生涯学習センターにおいて、ボランティア講師による、小・中学生を対象としたものづくりやパソコン教室などを開催した。	参加者数	109人	102人	B	有	新型コロナウイルス感染症感染防止対策として、中止となった講座があったが、昨年度と同程度の参加者数で講座を開催した。今後も、ボランティア講師を積極的に募集し幅広く各種の講座を開催する。	生涯学習センター

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

No	施策体系				事業名	実施主体	事業概要	重点項目 別紙1参照 (23ページ)				R3年度事業内容 (実績)	評価指標				※新型コロナ ウイルス感染症 の影響	成果と 今後の課題	課名
								ア	イ	ウ	エ		指標名	令和2年度 実績	令和3年度 実績	評価			
22	IV	2	(1)	放課後子ども教室	市	放課後や週末等に小学校の余剰教室等を活用して、地域の人々の参画のもと、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を提供する。	○	○			実施校区数は前年度から増減がなかった。 ・参加児童数 9,235人 ・登録児童数 2,102人  なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の一部を中止した。	実施校区数	34校区	34校区	A	有	事業委託先である地域の関係団体を組織する構成員の高齢化に伴い、人材の確保・育成が課題となり、新規開設が困難となっている。今後とも、実践的かつ多様な研修を実施し、人材を育成することにより、事業の充実を図るとともに、未実施校区の関係団体に対し、教室開設の働き掛けを継続し、新規開設校区の増加を図る必要がある。なお、令和4年度以降も、新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底した上で、引き続き事業を行っていく。	子育て支援課	
23	V	1	(1)	掃除教育「ひかびかデー」	市	幼稚園・小学校で、地域の高齢者等から掃除の仕方を学びながら清掃活動・心の教育を行う。	○	○			実施施設：幼稚園19園、こども園10園 月1回程度、園児が保護者や地域の老人会等と一緒に園内や地域の清掃をした。 (新型コロナウイルス感染防止のため、場合により、園児及び職員のみで実施。) (学校教育課) 小学校、中学校で、地域の高齢者等から掃除の仕方を学びながら清掃活動・心の教育を行った。	(こども保育教育課) 実施幼稚園数 (学校教育課) 実施小・中学校数	(こども保育教育課) 幼稚園21・こども園8 (学校教育課) 小学校47校・ 中学校23校	(こども保育教育課) 幼稚園19・こども園10 (学校教育課) 小学校47校・ 中学校22校	A	有	(こども保育教育課) 園児が自分で身の周りをきれいにする心地よさや有用感を味わうとともに、地域の人や保護者とのふれあいの場となった。 今後、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、事業を継続的に実施できるよう取り組む予定である。 (学校教育課) 児童会、生徒会を中心に清掃活動を行うだけでなく、保護者や地域の方と一緒に実施することで、児童生徒の自主性や心の醸成につながった。	こども保育教育課 学校教育課	
24	V	1	(1)	スマイルあいさつ運動	市	学校・家庭・地域社会が一体となり地域ぐるみで子どもを育てる活動の一環として「スマイルあいさつ運動」を実施する。	○	○			学校が家庭や地域社会に働きかけ、学校や地域の実態に応じて定期的を実施。ただし、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、小・中合同での実施はできていない。	スマイルあいさつ運動 実施校数	小学校 全47校 中学校 全23校 100%	小学校 全47校 中学校 全22校 100%	A	有	児童生徒、教職員、保護者、地域住民が連携協力して、あいさつや声を掛け合うことを通して、「節度ある生活習慣」「礼儀」「思いやり」「感謝」等、豊かな心を育み、学校・家庭・地域社会を活性化していくことにつながった。	学校教育課	
25	V	1	(1)	学校評議員制度推進事業	市	地域社会に開かれた学校づくり、家庭・地域との連携協力、特色ある教育活動の展開のため、保護者や地域の意見を幅広く聞く場として、幼稚園・第一高松高等学校には学校評議員会を設置するとともに、小・中学校には、高松型運営協議会を設置する。	○	○			高松第一高等学校には学校評議員会を設置。全小・中学校には、高松型運営協議会を設置し、900名を超える協議会委員を委嘱及び任命した。	各幼稚園、小学校、 中学校、高校	小学校 全47校 中学校 全23校 100%	小学校 全47校 中学校 全22校 100%	A	有	学校運営に関して高松市教育委員会及び校長の権限と責任の下、保護者及び地域住民等の学校運営への参画の促進や連携強化を進めることにより、学校と保護者、地域住民等と信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組んだ。	学校教育課	

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

No	施策体系				事業名	実施主体	事業概要	重点項目 別紙1参照 (23ページ)				R3年度事業内容 (実績)	評価指標				成果と 今後の課題	課名	
								ア	イ	ウ	エ		指標名	令和2年度 実績	令和3年度 実績	評価			※新型コロナ ウイルス感 染症の影響
26	V	1	(1)	高松型学校・地域連携システム推進事業	市	児童・生徒の健全な成長や学びを地域全体で支え、地域連携を中心とした教育活動の充実を図るため、高松型学校運営協議会を各小・中学校に設置し、学校やPTA、地域住民、各種団体等との連携を図る。	○	○			全小・中学校に、高松型運営協議会を設置し、900名を超える協議会委員を委嘱及び任命した。	小学校・中学校	小学校 全47校 中学校 全23校 100%	小学校 全47校 中学校 全22校 100%	A	有	学校運営に関して高松市教育委員会及び校長の権限と責任の下、保護者及び地域住民等の学校運営への参画の促進や連携強化を進めることにより、学校と保護者、地域住民等と信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組んだ。	学校教育課	
27	V	1	(1)	PTA地域活動促進事業	市	地域ぐるみ、市民ぐるみの子どもの健全育成を促進するために高松市PTA連絡協議会への活動を支援する。		○			高松市PTA連絡協議会及びメール配信事業の補助金を支出	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	評価不可	無	引き続き、地域ぐるみ、市民ぐるみの子どもの健全育成を促進するために高松市PTA連絡協議会への活動を支援していく。	生涯学習課	
28	V	1	(1)	中学校運動部活動講師・部活動指導員派遣事業	市	運動部活動のうち、技能の取得過程で危険を伴う競技(柔道・剣道・なぎなた)を対象に、専門性等に優れた外部指導者を派遣する。学校における部活動指導方針に沿い、部活動の指導全般、単独の指導、大会等への引率を行う部活動指導員を派遣する。		○			外部指導者6名、部活動指導員3名の委嘱・派遣を行った。	派遣希望学校(競技)数	6人	9人	A	無	講師派遣希望があった学校に講師を委嘱・派遣し、生徒への技術的な面や精神的な面での指導、並びに部活動担当教員に対して指導方法等の助言ができ、また部活動指導員を派遣することで、顧問として指導、引率等の職務を行うことができた。	保健体育課	
	I	2	(4)																
29	V	1	(1)	学校教育推進事業 (R1事業名変更)	学校教育活性化推進事業実施校(補助)	総合的な学習の時間の活性化を図るため、地域社会の人材活用や児童生徒の体験活動の充実を図る。	○	○			全小・中学校で地域人材を活用した総合的な学習の時間を実施し、体験活動の充実が図られた。	地域人材の活用	小学校 全47校 中学校 全23校 100%	小学校 全47校 中学校 全22校 100%	A	有	全ての小・中学校で地域人材を活用し、児童生徒の体験活動の充実が図られた。今後、地域人材の安定的確保が課題である。感染症予防のため、人数を制限したり、時間を短縮するなど、これまで同様の活動は実施できていない。	学校教育課	
	I	2	(10)																
30	V	1	(1)	地域に開かれた幼稚園づくり推進事業	市	幼稚園を地域に開放し、園庭開放や園児と未就園児親子の交流活動、子育て情報提供・相談等を実施する。		○			実施施設：幼稚園19園 園庭開放、園児と未就学児親子の交流活動、子育て相談等を実施した。(新型コロナウイルス感染状況を考慮しながら、可能な限り実施した。)	実施幼稚園数	21園	19園	B	有	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を縮小した施設もあったが、感染症対策を徹底し、内容を工夫しながら、事業を継続的に実施したことにより、園児と地域の未就園児が安心して遊ぶことのできる交流活動の実施や、保護者の子育ての悩みを軽減できる機会の提供につながった。今後も、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、事業を継続的に実施できるよう取り組む予定である。	こども保育教育課	
	V	2	(1)																

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

No	施策体系				事業名	実施主体	事業概要	重点項目 別紙1参照 (23ページ)				R3年度事業内容 (実績)	評価指標				成果と 今後の課題	課名	
								ア	イ	ウ	エ		指標名	令和2年度 実績	令和3年度 実績	評価			※新型コロナ ウイルス感染症 の影響
31	V	2	(1)	地域子育て支援拠点事業	市(委託、直営)	乳幼児及び保護者が相互交流する場を開設し、子育てについての相談、情報提供、助言など支援を行う。					〇	私立保育所及び認定こども園に委託(旧センター型) 17か所 週6~7日開設 8,973千円×1か所 週5日開設 8,398千円×15か所 小規模型 3,043千円×1か所 (利用者支援事業5日型 7,604千円×1か所)	実施施設数	17か所	17か所	A	有	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、交流の提供を一定期間中止した期間もあるが、感染症対策を徹底しつつ、乳幼児及び保護者が相互交流する場を開設し、子育てについての相談、情報提供、助言などの支援を行うことができた。	こども保育教育課
32	V	2	(1)	地域子育て推進事業	市(委託、直営)	子育て家庭の不安を軽減するため、保育所等を地域に開放し、育児相談や子育てサークル支援等を行う。					〇	私立保育所、認定こども園等 15か所 (委託料：1か所あたり500千円が上限)	実施施設数	15か所	15か所	A	有	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止した施設もあるが、感染症対策を徹底しつつ、事業を継続的に実施したことにより、育児相談や子育てサークル等に対する支援の充実につながった。	こども保育教育課
33	V	2	(1)	地域子育て推進事業	市(委託、直営)	子育て家庭の不安を軽減するため、保育所等を地域に開放し、育児相談や子育てサークル支援等を行う。					〇	実施施設：市立保育所15か所、市立こども園9か所 在園(所)児と一緒に、施設の行事や集会などへの参加や、保護者と一緒にふれあい遊びを楽しむ機会を提供した。 また、育児相談、情報提供、入園(所)案内も実施した。 (新型コロナウイルス感染状況を考慮しながら、可能な限り実施した。)	実施施設数	市立保育所18か所 市立こども園8か所	市立保育所15か所 市立こども園9か所	B	有	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止した施設もあるが、感染症対策を徹底しつつ、事業を継続的に実施したことにより、育児相談や子育てサークル等に対する支援の充実につながった。 今後も、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、事業を継続的に実施できるよう取り組む予定である。	こども保育教育課
34	V	2	(1)	保育所・幼稚園への出前食育事業	市	保育所・幼稚園等において、子どもたちや保護者に講話やエプロンシアター・紙芝居等を実施し、幼児期からの正しい食習慣づくりを支援する。					〇	保育所・幼稚園等において、児童を対象に、講話やエプロンシアター、紙芝居等を実施した。 市立保育所 6か所、市立こども園 3か所、市立幼稚園 1か所 合計 10か所	実施施設数	9か所	10か所	A	有	新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた出前食育が中止となった施設もあるが、幼児期における望ましい食習慣づくりへの支援等につながっている。 今後も、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、実施する予定である。	こども保育教育課
35	V	2	(1)	学校教育における食育推進事業	市	学校給食を中心とした食育の取組みを紹介するとともに、食の現状や課題への理解を深め、食の大切さを伝えるために、「食育セミナー」を開催する。					〇	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	食育セミナー開催回数	0回	0回	D	有	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 令和4年度については、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施する予定。	保健体育課

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

No	施策体系				事業名	実施主体	事業概要	重点項目 別紙1参照 (23ページ)				R3年度事業内容 (実績)	評価指標				※新型コロナウイルス感染症の影響	成果と今後の課題	課名
								ア	イ	ウ	エ		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績	評価			
36	V	2	(1)	子育て力向上応援講座	市	就学時健康診断等の機会を活用し、就学前児童の保護者を対象に、家庭教育の専門家等による講座を開催する。					就学時健診等を活用して、新1年生の保護者等を対象に子育て力向上応援講座を開設した。 ・小：学校説明会35、就学時健診47 ・市立幼こ：7 ・私幼：0 ・教育フォーラム：0	講座実施か所数	94か所	89か所	B	有	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催数が前年度実績を下回った。 令和4年度については、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施ができるように周知、啓発内容等を検討する必要がある。	生涯学習課	
37	V	2	(1)	家庭教育情報テレビ事業	市	7月の家庭教育月間に高松ケーブルテレビ「ホットライン高松」において、家庭教育・子育てに関する情報を放映する。					放送期間：令和3年7月1日～31日 講師：通井 孝夫 テーマ：スマホ依存にならないために～メディアをうまく使って家族コミュニケーションを大切に～	モニターによる満足度	(評価不可)	(評価不可)	評価不可	無	令和4年度より事業廃止	生涯学習課	
38	V	2	(1)	早寝早起き朝ごはん運動普及啓発事業	市	子どもの基本的な生活習慣の定着を図るため、就学時健康診断等の機会を活用し、啓発チラシの配布・説明等を行う。					・生活リズムチェック事業（小・中学校）を実施 ・食育フェスタでの啓発コーナーの設置 ・子育て力向上応援講座での啓発活動	朝ごはんを食べている子どもの割合（全国学力・学習状況調査 香川県公立小学校6年生）	—	85.10%	評価不可	無	朝ごはんを食べている子どもの割合（全国学力・学習状況調査 香川県公立小学校6年生）については、R元年度の達成率を0.1%下回った。 しかし、生活リズムチェックシートの調査結果によると、「読書」、「運動」の達成率が上昇し、全体でも前年度に比べ達成率がやや高かった。 今後も、生活リズムチェックシートを配布し、自分自身の生活態度を見直す機会を与える。また、家庭教育応援講座等での啓発活動を行っていく。	生涯学習課	
39	V	2	(1)	家庭教育学級	市	家庭における子育てなどの諸問題や家族の役割等についての学習機会を確保することにより家庭の教育力の向上を図る。					家庭における子育てなどの諸問題や家族の役割等についての学習機会を確保することにより家庭の教育力の向上を図るため、小学校等で開催した。	参加者数	5,887人	6,988人	A	有	新型コロナウイルス感染症感染防止対策として、中止となった講座があったが、昨年度よりは多くの講座を開催したことから、参加者数が少し増加した。令和4年度より、家庭教育事業の一つである子育て力向上応援講座との統合して実施していく。	生涯学習センター	
40	V	2	(1)	こどもスマイルテレホン事業	市	家庭問題・不登校・非行やいじめ等、子どもに関する悩みの相談窓口として「こどもスマイルテレホン」を開設する。					相談件数39件	相談件数	39件	39件	A	無	それぞれの悩みについて、相談窓口としての対応ができた。	少年育成センター	

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

No	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	重点項目 別紙1参照 (23ページ)				R3年度事業内容 (実績)	評価指標				成果と 今後の課題	課名	
							ア	イ	ウ	エ		指標名	令和2年度 実績	令和3年度 実績	評価			※新型コロナ ウイルス感染症 の影響
41	V	2	(1)	ブックスタート事業	市	4か月児相談の機会を活用し、絵本パックの贈呈、その利用方法と効用を説明し、楽しい子育て、読書への動機付けを図る。					4か月児相談時に、絵本パックを贈呈し、ボランティアの協力により、読み聞かせ等を行った。また、4か月児相談に参加していない世帯には、保健師が家庭訪問時に絵本パックを贈呈し、計2,926名に絵本パックを贈呈した。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月以降は読み聞かせを中断している。	絵本パックの交付率	93.02%	92.97%	B	有	転出者等もあることから、交付率を100%にすることは困難であるが、交付対象者の9割以上に絵本パックを贈呈できている。 なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、読み聞かせの再開の時期が不明である。	中央図書館
42	V	2	(1)	「いじめや不登校に関する相談電話」事業	市	いじめ問題や不登校への対応に生かすため、いじめや不登校に関する相談電話を設置し、児童・生徒、保護者等からの相談に対応する。					2名の専門スタッフにより、相談電話を受け付けた。各事業に対しては、学校教育課や当該学校と連携し、迅速に取り組んだ結果、適切な対応をとることができた。	電話相談 窓口相談	22件	25件	A	無	相談事業については重大化することなく、ほとんどが沈静化している。 今後はいじめ案件だけでなく不登校案件も受け付けし、取り組むこととしている。	総合教育センター
43	V	2	(1)	不登校等に関するカウンセラーによる教育相談事業	市(委託、直営)	教育支援センターの児童生徒をはじめ、不登校および不登校傾向の児童生徒やその保護者に対して、継続的な相談活動を行う。				常には、カウンセラー2名を配置し、事業に取り組んでいる。またそれ以外では、年2回の事例検討会、8回の親の会、その他通室支援検討会にスーパーバイザーとして指導助言を行う。 なお、親の会の内、年2回実施予定の夜の会は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止となった。	教育相談実施回数	141件	120件	B	有	教育相談は継続的に利用する割合が高く、利用者の満足度も高い。親の会の内、2回は夜会として開催するので参加者のニーズに応えることができている。ただ、相談予約がすぐに埋ってしまい、すぐの対応ができないことが課題である。	総合教育センター	
I	2	(3)																
44	V	2	(2)	子どもを中心とした地域交流事業	市	地域で活動する各種団体等が協働することにより、団体の持ち味やネットワークを活かしながら、子ども及び保護者並びに地域の大人が関わる継続的な事業を実施することで、地域の住人が顔見知りになるほか、地域の一体感を醸成するとともに、地域ぐるみで子どもを育む機運を高める。					【新規1団体】 ①二番丁(和太鼓教室、餅つき大会等)一部中止 【継続4団体】 ②花園(農業体験、お楽しみ会等)一部中止 ③新塩屋町(宿題指導、クイズ等)一部中止 ④古高松(田植え、農業体験等)一部中止 ⑤高松第一(ふれあいまつり等)※ほぼ中止 ⑥亀阜(ホタル、ラジオ体操等)一部中止	実施団体数	・新規4校区 (うち中止2) ・継続4校区 (うち中止1)	・新規1校区 ・継続5校区 (うち中止1)	C	有	令和3年度は、コロナの影響もあつたか、申請数において、新規1団体・継続5団体にとどまった。新型コロナウイルスの影響により、すべてのイベントを予定通りに行うことができた団体はなかったものの、活動自体が中止となった団体は一切なかった。 令和4年度については、未実施の地区団体に声掛けを行い、新規団体の実施を目指すとともに、新型コロナウイルス感染症対策を徹底するよう呼びかけ、参加団体を募る必要がある。	生涯学習課
45	V	2	(2)	地域コミュニティ人材養成事業	市	まちづくり活動の中核を担う地域のリーダー養成を目的とした人材養成事業を実施する。				新型コロナウイルス感染症の影響により中止	研修会の参加人数	-	-	D	有	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。令和4年度については、開催方法や内容を工夫することで開催できないか検討している。	コミュニティ推進課	
VI	1	(2)																

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

No	施策体系				事業名	実施主体	事業概要	重点項目 別紙1参照 (23ページ)				R3年度事業内容 (実績)	評価指標				成果と 今後の課題	課名	
								ア	イ	ウ	エ		指標名	令和2年度 実績	令和3年度 実績	評価			※新型コロナ ウイルス感染 症の影響
46	VI	1	(1)	男女共同参画センター学習	NPO法人たかまつ男女共同参画ネット(委託)	高松市男女共同参画センターにおいて、男女共同参画に関する各種セミナー・講座を開催する。	○				高松市男女共同参画センターにおいて、男女共同参画に関する各種セミナー・講座を開催した。 ○学習研修事業等(全43回) ・だれもがいきいきまちづくり講座(4回) ・女性のための就労支援講座(9回)など	学習研修事業の参加者数	1,018人	1,064人	A	有	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3か月近く休館としなければならなかったが、オンラインを活用するなど工夫をして事業を実施することで昨年度の実績を上ることができた。 今後も感染拡大防止に努めながら、参加者増加を図るために取り組む必要がある。	男女共同参画・協働推進課	
47	VI	1	(1)	男女共同参画週間事業	市	男女共同参画週間に合わせ、男女共同参画の啓発のための講演会・パネル展、弁護士による法律講座・相談等を実施する。	○				男女共同参画週間に合わせ、男女共同参画の推進にかかる講座等を行った。 男女共同参画啓発事業(6/23~6/29) ・女性弁護士による講座・相談 ・パネル展 ・啓発グッズの配布	男女共同参画週間中の参加者数	実施なし	766人	A	有	昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業が中止となったが、今年度は感染症対策を講じて実施することができた。今後も、感染症拡大防止に努めながら、参加者増加を図るために取り組む必要がある。	男女共同参画・協働推進課	
48	VI	1	(1)	男女共同参画市民フェスティバル	男女共同参画市民フェスティバル実行委員会(補助)	高松市男女共同参画センター登録団体が中心となり、講演会の開催・パネル展・ワークショップ等を開催する。	○				高松市男女共同参画センター登録団体が中心となり、講演会・パネル展・ワークショップ等を開催した。 (11/20~12/5)	男女共同参画市民フェスティバルの参加者数(講演会、パネル展、ワークショップ合計)	1,663人	1,429人	B	有	昨年度は実施を見送った講演会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じ、予定通り開催することができた。参加者数は減少する結果となったが、映画上映会やワークショップ、パネル展など参加者の8割以上が「大変良かった」「良かった」と回答するなど、概ね好評であった。今後も、感染症拡大防止に努めながら、参加者増加を図るために取り組む必要がある。	男女共同参画・協働推進課	
49	VI	1	(1)	市民活動センター情報発信事業	市	市民活動センターホームページ「ふらっと高松」において、NPO等団体の情報を収集・発信する。	○				ホームページ「ふらっと高松」、メールマガジン、フェイスブック及び機関誌「コラボたかまつ」等を活用し、情報発信を行うことができた。また、ケーブルテレビ「コミュニティチャンネル」に市民活動団体活動紹介チャンネルを設け、市民活動に取り組む市民自らが出演し、効果的な活動紹介を行うことができた。 このほか、NPO法人との連携強化のため、本市が所轄庁となるNPO法人とのネットワークづくりをし情報発信を行っている。	ホームページ登録団体数	114団体	102団体	B	無	NPO法人にメールでの情報配信を行い連携強化が図れた。引き続き、市民活動センター機能の一つである「情報収集・発信」に取り組み、市民活動団体の支援の充実を図る。	男女共同参画・協働推進課	
50	VI	1	(1)	地域コミュニティ協議会情報発信事業	市	市民・地域コミュニティ協議会・行政が双方から情報収集・発信・ネットワーク形成できる情報拠点として、ポータルサイト「コミねっと高松」を運営する。	○				地域の情報収集、発信、ネットワーク形成できる情報拠点	ポータルサイトへの掲載団体	44団体	44団体	A	無	地域コミュニティ協議会からの情報発信により、ネットワーク形成できる情報拠点として活用することができた。	コミュニティ推進課	

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

No	施策体系	事業名	実施主体	事業概要	重点項目 別紙1参照 (23ページ)				R3年度事業内容 (実績)	評価指標				※新型コロナ ウイルス感染症 の影響	成果と 今後の課題	課名		
					ア	イ	ウ	エ		指標名	令和2年度 実績	令和3年度 実績	評価					
51	VI	1	(1)	人権・同和問題啓発活動事業	市、コミュニティセンター、高松市人権啓発推進協議会(26年度以降、人権尊重都市たかまつ市民会議)	市民の人権意識の普及・高揚を図るため、啓発物品等の作成・配布及び人権フェスティバル、市民のつどい、ハンセン病を正しく理解する講演会等を開催する。	○	○			○人権啓発用パンフレット、啓発物品等の作成・配布 ○人権フェスティバルの開催 年1回→中止 ○スマイルフェスティバルの開催 年1回 ○ハンセン病を正しく理解するパネル・作品展 ○ハンセン病を正しく理解する講演会の開催 年1回 ○人権の花運動 小学校6校配置	人権フェスティバル、平和と人権を守る市民のつどい(R1年度以降、スマイルフェスティバル)、ハンセン病を正しく理解する講演会参加者数	○人権フェスティバル 中止 ○スマイルフェスティバル 中止 ○ハンセン病を正しく理解する講演会 69人、パネル・作品展 569人	○人権フェスティバル 中止 ○スマイルフェスティバル 400名 ○ハンセン病を正しく理解する講演会 85人、パネル・作品展 732人	A	有	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により一部の事業を中止した。また、一部の事業については、新型コロナウイルス感染症対策として、開催方法を変更し実施した。 令和4年度については、開催方法を見直す等、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施していく。	人権啓発課
52	VI	1	(1)	地域における人権啓発推進事業	市、地域コミュニティ協議会	各地域コミュニティ協議会で選任された人権啓発推進員が、生涯学習推進員と協力して、地域の生涯学習における人権に関する講座の企画・運営及び広報活動を実施する。	○	○			○人権啓発推進員研修会の開催 年2回 ○地域の「生涯学習事業」の中で実施されている人権に関する講座の企画・運営及び広報活動 参加者数 延べ8,282人	人権に関する講座等の参加人数	1,121人	945人	B	有	人権啓発推進員の工夫により様々な形態での啓発事業を実施し、広く市民の人権意識の普及・高揚に努めているが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地域のイベント等が開催できなかったことにより、参加人数は減少した。今後も啓発活動を継続し、参加者の増加に努める。	人権啓発課
53	VI	1	(1)	人権・同和問題指導者養成事業	市	人権を尊重する明るい職場づくりや人権に配慮したやさしい企業づくりを推進するため、市内の事業所の代表者や人権啓発等を担当する職員を対象に、指導者研修講座を開催する。	○	○			○人権・同和問題啓発講座の開催 年1回	人権・同和問題指導者研修講座参加者数	中止	参加企業471社 1,075回	評価 不可	有	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、録画配信による開催方法に変更して実施した。 令和4年度については、開催方法を見直す等、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施していく。	人権啓発課
54	VI	1	(1)	平和啓発推進事業	市	平和意識の啓発・普及のため、平和を語るつどい・映画祭、空襲写真展、戦争遺品展、講演会等を開催する。	○	○			○高松空襲写真展(6月25日～7月5日)、高松市戦争遺品展(7月13日～19日)、原爆被写真展(8月5日～11日)、収蔵品巡回展(2月26日～3月21日)、小中学校での平和講演会(12月15日、1月12日) ○平和記念たよりの発行(4回)	平和記念館(仮称)入館者数、平和意識の啓発事業参加者数	平和記念館入館者数 6,995人、平和意識の啓発事業参加者数 4,533人	平和記念館入館者数 9,529人、平和意識の啓発事業参加者数 4,983人	A	有	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施した。 令和4年度は、多様な媒体での事業の周知、事業内容の充実や多数の参加者が望める場所での啓発事業を実施していく。	人権啓発課
55	VI	1	(1)	防災講演会	市	防災士を始め、各地で地域防災に関心のある市民を対象に、地域防災に取り組むために必要な内容について、学識経験者等を講師に招き、防災講演会を開催する。				○	防災士を始め、各地で地域防災に関心のある市民を対象に、地域防災に取り組むために必要な内容について、学識経験者等を講師に招き、防災講演会を開催した。	参加者数	会場 45人 リモート17人 合計 62人	会場 46人 リモート21人 合計 67人	A	有	新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、受講者は会場又はリモート視聴の選択制として実施した。昨年度に比べて会場、リモートともに参加人数は増加し、アンケート結果を見ても、概ね満足度が高いと回答いただくことができた。 令和4年度についても、感染状況を考慮し、適切に感染症対策を講じながら実施する予定。	危機管理課

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

No	施策体系				事業名	実施主体	事業概要	重点項目 別紙1参照 (23ページ)				R3年度事業内容 (実績)	評価指標				※新型コロナ ウイルス感染症 の影響	成果と 今後の課題	課名
								ア	イ	ウ	エ		指標名	令和2年度 実績	令和3年度 実績	評価			
56	VI	1	(1)	市政出前ふれあいトーク事業	市	市政の仕組みや取り組んでいる施策・事業、今後の検討課題等について、設定テーマに応じて、職員が地域へ出向き、説明及び情報提供・意見交換を行う。	○				テーマ数：151 実施件数：130件 参加人数：4,478人	市政出前ふれあいトークの実施回数	179回	130回	C	有	新型コロナウイルス感染症の影響により、申込件数が減少し、申し込み後も中止が多く見られたことから、前年度に比べ約27%減少した。今後についても、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、十分に感染対策を講じた上で適宜実施する。	広聴広報課	
57	VI	1	(1)	広報高松による情報提供	市	生涯学習情報を始め、各種の市政情報を発信するため、毎月1日「広報高松」を発行する。	○				「広報高松」を月1回(1日)発行し、生涯学習に関する情報を含む、市政情報全般について広く周知した。	-	(評価不可)	-	評価不可	無	「広報高松」を月1回(1日)発行し、生涯学習に関する講座やイベントを適宜掲載した。	広聴広報課	
58	VI	1	(1)	市ホームページによる情報提供	市	生涯学習情報を始め、各種の市政情報を発信するため、市ホームページ「もっと高松」の管理・運営を行う。	○				生涯学習情報を含む、市政情報全般について、トピックスやおすすめ情報と連携する等、効果的に情報発信を行った。	-	(評価不可)	-	評価不可	無	市ホームページ「もっと高松」で、生涯学習に関する講座やイベント情報を適宜発信した。	広聴広報課	
59	VI	1	(1)	認知症サポーター養成講座	市	認知症高齢者等に対する正しい知識を持ち、地域で認知症高齢者等や家族を支援するサポーターを養成し、安心して暮らせる地域づくりの担い手を増やす。	○				①認知症の人やその家族等の生活を身近なところで支えている地域住民・学校・企業等の幅広い年齢層の住民等を対象に講座を開催。年度の後半は企業等では、オンラインで認知症サポーター養成講座を開催した。 ②認知症サポーター養成講座受講生のうち、認知症ボランティアとして活動したい方を対象に、認知症ステップアップ講座を開催し、認知症カフェなどでボランティアとして活動できるように支援した。	認知症サポーター数 養成人数1,677人	認知症サポーター 養成人数2,006人	A	有	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、昨年度と同様、認知症サポーター養成講座の開催自体の希望があっても中止となった。オンラインでの講座を開催するところもあり、昨年度よりは受講人数は増加した。今後については、認知症サポーター数の増加のために、サポーター養成講座の新規開催団体等の開拓が必要である。	地域包括支援センター		
60	VI	1	(1)	かがわ国際フェスタ	市	市民の国際交流・国際協力・多文化共生に対する理解の増進と国際感覚の醸成を図るとともに、国際交流・国際協力の担い手である団体や関係機関相互の連携強化のため「かがわ国際フェスタ」を開催する。	○				(公財)香川県国際交流協会等との共催で、令和3年10月10日～11月9日に「かがわ国際フェスタ2021」を開催した。約7,300人が参加し、国際交流への理解を深めることができた。	「かがわ国際フェスタ」参加者数	9,300人	7,300人	C	有	多くの市民が国際交流への理解を深めることができた。今後もイベントの開催を通して、国際交流・国際協力に携わる団体相互の連携強化や、市民の国際交流・協力活動への参加・理解を促進していく。	都市交流室	
61	VI	1	(1)	瀬戸内国際芸術祭推進事業	瀬戸内国際芸術祭実行委員会(補助)	文化芸術の振興と瀬戸内の活性化・地域振興、世界への情報発信のため、3年毎に国際的な芸術祭として「瀬戸内国際芸術祭」を開催する。	○				3年に1回開催する瀬戸内国際芸術祭以外の期間で開催しているART SETOUCHIを、コロナウイルス感染症の影響により、限定的に開催した。	来場者数	-	123人	A	有	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、限定的な作品公開となったが、感染症拡大防止対策を講じ、会場となる島々の住民の理解を得た上で開催した。	文化芸術振興課	

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

No	施策体系				事業名	実施主体	事業概要	重点項目 別紙1参照 (23ページ)				R3年度事業内容 (実績)	評価指標				成果と 今後の課題	課名	
								ア	イ	ウ	エ		指標名	令和2年度 実績	令和3年度 実績	評価			※新型コロナ ウイルス感染症 の影響
62	VI	1	(1)	市民文化祭	高松市市民文化祭アーツフェスタたかまつ事業運営委員会(補助)	市民企画提案型事業「アーツフェスタたかまつ」の開催を支援する。	○				開催団体：15団体 鑑賞者数：4391人	アーツフェスタ鑑賞者数	—	4,391人	A	有	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止した。 令和4年度については、国等が示す感染拡大予防ガイドライン等に基づく対策を講じて実施予定。	文化芸術振興課	
63	VI	1	(1)	デリバリーアーツ事業	公益財団法人高松市文化芸術財団(委託)	普段の生活の中で身近で気軽に文化芸術に親しむ機会づくりとして、市民の希望により出前公演を実施する。	○				開催回数：全15回(内東かがわ市3回、綾川町2回) 鑑賞者数：488人(内市外開催地307人)	デリバリーアーツ鑑賞者数	237人	488人	A	有	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により一部公演を中止、かつ各公演の来場者数を施設収容人数を上限として実施した。 令和4年度については、国等が示す感染拡大予防ガイドライン等に基づく対策を講じて実施予定。	文化芸術振興課	
64	VI	1	(1)	文化芸術ホール自主事業	公益財団法人高松市文化芸術財団(補助)	文化芸術ホールにおいて、文化芸術の振興・普及のため、コンサート等各種事業を開催する。	○				実施：7事業 新型コロナウイルス感染症の影響による中止：2事業	自主事業鑑賞者数	3,216人	3,118人	B	有	新型コロナウイルス感染症の影響で、入場者数は計画比40.6%だった。市内外の小学生約2,200人を招待する公演が中止となったことが、数字に直接影響している。 令和4年度も、質の高い作品を紹介するために、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じ、開催予定。 また、令和4、5年度は、改修工事のため一部を除き施設を使用できないことから、アウトリーチに注力する。	文化芸術振興課	
65	VI	1	(1)	スポーツ教室	公益財団法人高松市スポーツ協会	市民の健康増進と体力向上を図るため、各スポーツ施設の特徴を活かした各種スポーツ教室を開催する。	○				各種スポーツ教室	実施施設及び実施教室数	14施設 101教室	14施設 106教室	A	有	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になる教室があった。 令和4年度については、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施する予定。	スポーツ振興課	
66	VI	1	(1)	市民登山学校	市民登山学校	健康維持、自然保護の啓発、登山知識・技術を習熟するため、講座・実技を開催する。	○				毎月1回の座学と山岳実技	参加人数	生徒数 100名 毎月講座1回 実技1回	生徒数 71名 毎月講座1回 実技1回	C	有	令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって県外登山から県内登山に変更があった。 講座内容について、最新の道具等の利用方法など、時代に即した最新の情報を取り入れた内容を取り入れていきたい。	スポーツ振興課	

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

No	施策体系				事業名	実施主体	事業概要	重点項目 別紙1参照 (23ページ)				R3年度事業内容 (実績)	評価指標				※新型コロナウイルス感染症の影響	成果と今後の課題	課名
								ア	イ	ウ	エ		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績	評価			
67	VI	1	(1)	学校体育施設開放事業	市	市内全小学校体育施設（自主管理方式）と中学校は指定校方式で、学校体育施設の開放を行う。					市民の体力づくりや健康増進を始め、余暇の利用にも寄与する、身近で有益なスポーツ施設としての学校体育施設について、学校教育活動に留意する中で開放を行う。	中学校開放数	16校	16校	A	有	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、約3か月中止したが、その期間以外は概ね事業を実施することができた。課題としては、毎年施設修繕が必要な箇所を改修しているものの、予算等の問題で対応できない部分もあるため、必要性を十分検討し、計画的な実施をしていきたい。	スポーツ振興課	
68	VI	1	(1)	成人式式典事業	市	新成人を対象に、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますための式典を開催する。					新型コロナウイルス感染対策のため、2部開催とし、1回あたりの参加者を1,300人程度で実施。 場所：サンポートホール高松 日時：R4.1.9 第1部13：00～ 第2部15：30～ 対象者数：4,356人 出席者数：2,351人	出席率	52.9%	54.0%	A	有	昨年度に比べて出席率は若干増加したものの、例年に比べて参加者は減少している。令和4年度も新型コロナウイルス感染症の状況に応じて対策を検討していく。	生涯学習課	
69	VI	1	(1)	子ども向けホームページ「きっずの森」情報発信事業	市	市内で開催される子ども向け行事や子どもの学習に関する情報を、子ども向けホームページ「きっずの森」にて発信する。					市内で開催される子ども向け行事や子どもの学習に関する情報を、子ども向けホームページ「きっずの森」にて発信する。	掲載内容の充実、年間アクセス件数	55,509件	101,982件	A	有	新型コロナウイルス感染症による行動制限が昨年度より緩和されたため、イベントを検索する機会が増え、令和2年度に比べアクセス数が伸びたものと思われる。さらに、アクセス数を増やすため、令和4年度早寝早起き朝ごはん運動普及・啓発事業のチラシにきっずの森ホームページのQRコードを掲載。また、ミライエにもチラシを配置するよう依頼予定。	生涯学習課	
70	VI	1	(1)	生涯学習カレッジ事業	市	社会変化に対応した生活課題や環境問題など現代的課題をテーマにした講座や、高度で専門的な学習機会を提供する。					社会変化に対応した生活課題や環境問題など現代的課題をテーマにした各種講座を開催した。	生涯学習センター開催講座参加人数	3,483人	3,762人	A	有	新型コロナウイルス感染症感染防止対策として、中止となった講座があったが、昨年度よりは多くの講座を開催したことから、参加者数が少し増加した。今後も、社会情勢に応じた市民のニーズに応じた講座の開催を検討する。	生涯学習センター	
71	VI	1	(1)	高松市民大学・屋島カレッジ事業	高松大学生 生涯学習教育 センターと 共催	市民の教養を高め地域文化の振興を図る「高松市民大学」、歴史・文化・自然・観光など郷土の良さを再確認を図る「屋島カレッジ」など、高松大学と共催で各種講演会を開催する。					「ポストコロナを見据えた子育て支援の未来を考える」と題したパネルディスカッションや歴史・文化・自然・観光など郷土の良さを再確認を図る講座など、「高松市民大学」を高松大学と共催で開催し、その内容の一部をYouTubeで配信した。	講演受講者	3人 YouTube配信 視聴回数約1,000回	258人 うちYouTube配信 視聴数：123人	評価 不可	有	新型コロナウイルス感染症防止対策のため、会場とYouTube配信のハイブリッド型により開催したため数値化できない。今後も、高松大学・高松短期大学と連携し、市民に役立つ各種講演会の開催を検討する。	生涯学習センター	

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

No	施策体系				事業名	実施主体	事業概要	重点項目 別紙1参照 (23ページ)				R3年度事業内容 (実績)	評価指標				※新型コロナウイルス感染症の影響	成果と今後の課題	課名
								ア	イ	ウ	エ		指標名	令和2年度実績	令和3年度実績	評価			
72	VI	1	(1)	コミュニティセンター同好会事業	市	コミュニティセンター等において承認を得た同好会に対して、定期利用の許可・利用料金の減免を行う。	○				コミュニティセンター等において承認を得た同好会に対して、定期利用の許可・利用料金の減免を実施した。	同好会登録団体数	1,128団体	1,090団体	B	無	前年度とほぼ同数の同好会登録団体数であった。今後も、引き続き同好会に対する減免制度を実施し、地域における更なる生涯学習の推進に努める。	生涯学習センター	
73	VI	1	(1)	コミュニティセンターだよりの発行 (生涯学習関連)	コミュニティ協議会	各コミュニティセンターで発行している「コミュニティセンターだより」において、コミュニティセンター等で開催する講座・行事等の学習情報のほか、地域の学校関係情報など多彩な情報を紹介する。	○	○			各コミュニティセンターで発行している「コミュニティセンターだより」において、コミュニティセンター等で開催する講座・行事等の学習情報のほか、地域の学校関係情報など多彩な情報を紹介した。	発行施設数	52施設	52施設	A	無	前年度と同数の施設において「コミュニティセンターだより」で多彩な情報を紹介できた。今後も、引き続き「コミュニティセンターだより」で地域における生涯学習に係る情報の提供に努める。	生涯学習センター	
74	VI	1	(1)	まなびCANだより「まなびかんづめ」の発行	市	生涯学習センターで開催される講座等の学習情報を紹介する情報紙「まなびかんづめ」を毎月発行する。	○				生涯学習センターで開催される講座等の学習情報を紹介する情報紙「まなびかんづめ」を毎月発行した。	「まなびかんづめ」配布箇所数	39ヶ所	39ヶ所	A	無	前年度と同様、39ヶ所に「まなびかんづめ」を配布できた。今後も、引き続き新たな配布先の開拓を検討する。	生涯学習センター	
75	VI	1	(1)	まなびCANホームページ情報発信事業	市	まなびCANのホームページで講座の募集情報・施設情報、お知らせ、インターネット塾など各種生涯学習情報を発信する。	○				まなびCANのホームページで講座の募集情報・施設情報など各種生涯学習情報を発信した。	HPアクセス件数	78,074件	77,662件	B	無	ホームページは、前年度とほぼ同数のアクセスがあった。今後も、引き続きホームページで市民にとって興味を持ってもらえる各種生涯学習情報等の発信に努める。	生涯学習センター	
76	VI	1	(1)	コミュニティセンター等パソコン講習会	市	生涯学習センターやコミュニティセンター等でパソコン講習会を開催し、情報通信の知識や技術・マナー等、情報活用能力の向上、新しい情報メディアの活用を推進する。			○		生涯学習センターやコミュニティセンター等でパソコンやスマホ、タブレットなどに関する講習会を開催し、情報通信の知識や技術・マナー等、情報活用能力の向上、新しい情報メディアの活用を推進する講座を開催した。	IT講座開催回数(講座数)	82回	186回	A	有	新型コロナウイルス感染症防止対策のため、中止となった講座があったが、コミュニティセンターにおいてスマートフォンの使い方講座を積極的に行ったことから増加した。スマートフォンの操作については、機種の変更が行われることから、機種の更新に合わせた講座の開催を検討する。	生涯学習センター	
77	VI	1	(1)	まなびCAN、Eメールサービス	市	広報たかまつの発行に併せて、希望者のパソコン・携帯電話にEメールにより、生涯学習センター講座情報等を配信する。	○				広報たかまつの発行に併せて、希望者のパソコン・携帯電話にEメールにより、生涯学習センター講座情報等を配信した。	まなびCAN、Eメールサービス登録者数	331人	267人	B	無	登録者に対して講座情報等を発信したが、SNSなどの普及により登録者数は前年度を下回った。今後、SNSなど新たな情報発信方法を検討する。	生涯学習センター	

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

No	施策体系				事業名	実施主体	事業概要	重点項目 別紙1参照 (23ページ)				R3年度事業内容 (実績)	評価指標				※新型コロナ ウイルス感 染症の影響	成果と 今後の課題	課名
								ア	イ	ウ	エ		指標名	令和2年度 実績	令和3年度 実績	評価			
78	VI	1	(1)	人権教育市民講座	市	コミュニティセンターで、地域住民を対象に、啓発資料や視聴覚教材を活用した人権教育市民講座を開催する。					延べ16コミュニティセンターで開催し、延べ345人の参加があった。	参加者数	590人	345人	C	有	限られた経費で市民に対し人権問題を考える機会を継続的に提供している。人権教育市民講座が各団体において毎年開催されるよう、引き続きホームページや他の情報媒体を利用して、情報提供や啓発を行うっていく必要がある。	人権教育課	
79	VI	1	(1)	スマイルフェスティバル inたかまつ	市、人権等 重都市たか まつ市民会 議（共催）	人権意識の普及・高揚を図るため、人権をテーマとした公演やパネル展、幼児・児童生徒・保護者・企業等によるステージ発表などを内容とするイベントを開催する。					令和4年1月15日にサンポートホール大ホールで開催された。ステージイベントでは、歌や踊り、ペープサート劇、人権作文の朗読、和太鼓演奏が披露され、人権意識の普及・高揚を図った。	参加者数	0人	400人	A	有	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点からイベントを中止したが、令和3年度は感染防止対策を施しながら実施した。令和4年度はサンポートホールが使えないため、ミュージアムホールにて開催する。	人権教育課	
80	VI	1	(1)	人権教育研修事業	市	様々な人権問題の解決を図るため、幼稚園・こども園・小中学校・高松一高ごとにPTA等を対象とした人権・同和教育に関する講演会等を開催し、地域・保護者の人権意識の高揚を図る。					4市立こども園、10市立幼稚園、33小学校、13中学校、1高等学校で開催し、延べ11,446人の参加があった。	参加者数	8,931人	11,446人	A	有	全ての市立こども園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校でPTA等を対象とした講演会等を開催している。子どもに対する人権・同和教育をより効果あるものとするため、今後も事業の継続が必要である。	人権教育課	
81	VI	1	(1)	幼年・少年消防クラブの育成	幼少、少年 消防クラブ 連絡協議会 (補助)	幼少年期から防災意識を高め、地域の安全・安心の担い手として育成するため、保育所・幼稚園・小中学校に幼年少年消防クラブの結成を推進する。					令和3年度末において、結成クラブ数は幼年消防クラブ52クラブ、少年消防クラブ19クラブとなっている。	消防クラブ結成数	幼年消防クラブ 54クラブ 少年消防クラブ 19クラブ	幼年消防クラブ 52クラブ 少年消防クラブ 19クラブ (園の統合により減少)	A	無	令和3年度は、園の統合によりクラブ数が2クラブ減少した。各行事を充実させクラブ数の維持及び増加を目指す。	予防課	
82	VI I	1 2	(1) (8)	菊池寛及びその作品から 学ぶ「寛学」事業	市	郷土の偉大な作家「菊池寛」の作品に親しみ、先人の生き方に学ぶとともに、自己の生き方を考える「寛学」を実施する。					全小・中学校において、読書活動や道徳科、学級活動の時間等、学校の実態に応じて機会を設け実施した。	市内全小中学校で実施	小学校 全47校 中学校 全23校 100%	小学校 全47校 中学校 全22校 100%	A	有	菊池寛の生き方に触れるとともに、その作品を読み親しむ活動を通して、自己の生き方を考え、自らの夢を描き、高い志をもつ機会となった。	学校教育課	
83	VI VI	1 1	(1) (2)	知的障がい者青年教室	市	知的障がいのある青年が、集団活動を通して、人とふれあい社会人としての知識・技能を修得するとともに、市民ボランティアが知的障がい者への理解を深める機会として教室を開設する。					年間3回（6、7、11月）実施 《登録者数》 ●受講生：35人 ●ボランティア：53人	利用者の満足度	受講生：93.6% ボランティア：80.2%	受講生：93.3% ボランティア：92.2%	A	有	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、6、7、11月は定員縮小・時間短縮の方法で実施、5、10、1、2月は中止した。今年度も引き続き定員縮小・時間短縮の方法で全8回実施予定。	生涯学習課	
84	VI VI	1 2	(1) (1)	コミュニティセンター講座	市、コミュニ ティセン ター	コミュニティセンター等で、現代的課題をテーマとする講座や、親子ふれあい学習、趣味・実技講座等を開催し、地域住民に学習機会を提供する。					コミュニティセンター等で、現代的課題をテーマとする講座や、親子ふれあい学習、趣味・実技講座等を開催し、地域住民に学習機会を提供した。	参加者数	50,660人	50,977人	A	有	新型コロナウイルス感染症防止対策のため、中止となった講座があったが、昨年度と同程度の参加者数で講座を開催した。今後とも、各地域のニーズに応じた学習機会を提供できるよう、各コミュニティセンターと情報共有を行う。	生涯学習センター	

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

No	施策体系				事業名	実施主体	事業概要	重点項目 別紙1参照 (23ページ)				R3年度事業内容 (実績)	評価指標				成果と 今後の課題	課名	
								ア	イ	ウ	エ		指標名	令和2年度 実績	令和3年度 実績	評価			※新型コロナ ウイルス感染症 の影響
85	VI	1	(1)	まなびCAN・CSR教室	市	CSR（企業の社会的責任）という考え方にに基づき、生涯学習センターで、地元企業や個人事業者が生涯学習の観点から社会貢献を進める講座等を開催する。	○				CSR（企業の社会的責任）という考え方にに基づき、生涯学習センターで、地元企業や個人事業者が生涯学習の観点から社会貢献を進める講座等を開催した。	企業のよる社会貢献 (CSR)講座の参加者数	376人	286人	C	有	新型コロナウイルス感染症防止対策のため、講座の中止や参加人数の制限をしたほか、企業側からも中止の申し出があったことから参加者数が減少した。今後は、企業や個人事業者に生涯学習における企業等の社会貢献を進める場として、安心して講座を開設できるよう検討する。	生涯学習センター	
86	VI	1	(1)	他団体との連携事業	市	国・県等の講師派遣制度の活用をはじめ、公的機関・庁内各課、コミュニティセンター等と連携した講座を開催する。	○			○	国・県等の講師派遣制度の活用をはじめ、公的機関・庁内各課、コミュニティセンター等と連携した講座を開催した。	連携事業による講座の参加人数	554人	576人	A	有	新型コロナウイルス感染症防止対策のため、中止となった講座があったが、昨年度より参加者数が増加した。今後も、公的機関等との連携を密にし、幅広く各種の講座の開催を検討する。	生涯学習センター	
VI	2	(1)																	
87	VI	1	(2)	市民活動センター事業	市	市民活動センターにおいて、市民活動活性化のため、情報収集・提供、学習・研修、交流・コーディネート、調査・連携、災害時対応など各種事業を実施する。	○				・活動支援講座（会計・労務等）8回 48人 ・活動紹介講座（みどりを楽しむ教室等）22回 516人 ・高松市まづくり学校（地域づくりチャレンジ塾）6回 127人 ・みんなの学縁祭 1回 43人 ・みんなでみんなの（和い輪い）4回 198人	センター来館者数	10,263人	13,156人	A	有	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、会議室の使用制限等を実施したものの、前年度より利用者は増加した。 ・各種講座の実施（活動支援、活動紹介等） ・NPO法人認証等事務に関する相談等 ・高松市まづくり学校 ・情報収集及び発信（情報誌、HP、FB等）	男女共同参画・協働推進課	
88	VI	1	(2)	「ため池守り隊」市民活動支援事業	市民活動団体 (補助)	自然環境保全のため、非農家も参加し、ため池の清掃活動等を実施する団体に補助金を交付する。	○				11か所	実施か所数	13か所	11か所	B	有	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した活動団体があったため、実施箇所数が前年度を下回った。前年度から引き続き活動をしている団体については非農家も参加し、自然環境保全に役立った。引き続き、市ホームページや広報で周知を行い、新規活動組織の増加に努める。	土地改良課	
89	VI	1	(2)	観光ボランティアガイド事業	市観光ボランティア協会 (補助)	観光客等の利便を図るため、市内の歴史・文化・自然・物産などを紹介するボランティアガイドを育成し、ガイドを実施する。	○				・個々のガイドの自己研鑽と資質向上のため、全体研修（講演会参加、新人研修）を実施 ・全体研修とは別に部会研修（玉藻公園部会及び屋島山上部会）を現地にて各1回実施	観光ボランティアガイド件数	1,109件	714件	C	有	全体研修（講演会参加含む）については約6割以上が参加したが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ガイド件数が大幅に減少した。また、ガイドの高齢化が進んでいるため、若年層ガイドの育成に向け、地元の大学や短大等と連携を図ることなどが今後の課題である。	観光交流課	

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

No	施策体系		事業名	実施主体	事業概要	重点項目 別紙1参照 (23ページ)				R3年度事業内容 (実績)	評価指標				成果と 今後の課題	課名	
						ア	イ	ウ	エ		指標名	令和2年度 実績	令和3年度 実績	評価			※新型コロナウイルス感染症の影響
90	VI	1 (2)	まちかど漫遊帖事業	高松まちかど漫遊帖実行委員会(補助)	歴史探訪・食・産業など高松の隠れた観光資源を発掘し、市民主体でまち歩きの観光コンテンツを企画・運営する。まち歩きガイドを実施し、観光客の誘致を図り、まちの活性化につなげる。	○				例年どおり春編及び秋編の2種類のまち歩きパンフレットを作成し、各市民ツアープロデューサーによるまち歩きの催行を実施した。また、動画配信サービスを活用し、自宅に居ながらまち歩きを体験できる取り組みも行った。	まち歩き参加率	28%	89%	A	有	令和3年度全体の参加率は約9割まで回復した。大型観光イベント等が相次ぎ中止となった一方、本事業のような少人数を対象とした観光コンテンツの需要が高まっていることが伺える。今後は、引き続き感染防止対策を徹底した上でツアー催行を行うとともに、内容のブラッシュアップを図ることにより、更なる参加率の向上を目指す。	観光交流課
91	VI	1 (2)	たかまつこどもサミット	教育委員会・高松栗林ライオンクラブ	高松市内の小学校児童(4校程度)が各校で調査・研究した結果をテーマに基づき発表し、また、各校からの発表について子どもたちや大人が共に考え、話し合うとともに、提言を行う。	○				新型コロナウイルス感染症の影響により中止	参加者数	-	-	D	有	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。令和4年度については、開催時間を短縮する、態様を変更する等、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、学校負担を考慮して実施する予定。	生涯学習課
92	VI	1 (2)	学習成果発表の場事業	市	市民や市民グループの学びの成果を発表することで、さらなる学習意欲の向上を図り、生涯学習の輪を広げるための講座を開催する。	○				市民や市民グループの学びの成果を発表することで、さらなる学習意欲の向上を図り、生涯学習の輪を広げるための講座を開催した。	市民の学習成果発表の場としての講座開催回数(講座数)	9回	11回	A	有	新型コロナウイルス感染症防止対策のため、中止となった講座があったが、昨年度より開催回数が増加した。今後も、当該事業を市民等に広く周知し、新たな発表者を開拓する。	生涯学習センター
93	VI	1 (2)	よみきかせたい! r 派遣事業	市	子どもの自主的な読書活動や社会貢献への意義や重要性を養う機会として、老健施設等での「よみきかせたい! r」、「キッス読み聞かせ隊」による読み聞かせ活動を実施する。	○				新型コロナウイルス感染症拡大の影響で多くのイベントが延期・中止になったなかで、「夏のおたのしみ会」「冬のお楽しみ会」等で計3回の読み聞かせ活動等を行った。	派遣回数	3回	3回	A	有	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で図書館内のイベントが活動の中心となっている。このため、メンバー養成の場としての比重を重視した活動を行っている。	中央図書館
94	VI	1 (2)	市民活動団体ネットワーク構築事業	市民活動団体等	各種市民活動団体や教育機関等との交流会の開催など、団体同士のネットワーク構築を図る。	○				地域づくりチャレンジ塾最終報告会「みんなの学縁祭」令和4年2月19日(土) 瓦町FLAG健康ステーション 参加者43人	交流会(意見交換会)参加人数	51人	43人	B	有	令和3年度は、対面とオンラインを併用し、新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施した。今後も高松市まちづくり学校実行委員会を中心に、市民活動団体、地域コミュニティ協議会関係者等、地域づくりに関わる多様な人々たちとの連携・交流の場として、「みんなの学縁祭」を開催する。	男女共同参画・協働推進課
	VI	1 (1)															

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

No	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	重点項目 別紙1参照 (23ページ)				R3年度事業内容 (実績)	評価指標				成果と 今後の課題	課名		
							ア	イ	ウ	エ		指標名	令和2年度 実績	令和3年度 実績	評価			※新型コロナ ウイルス感染 症の影響	
95	VI	2	(1)	コミュニティセンター整備事業	市	コミュニティセンターの改築について、①老朽化に伴う改築②長寿命化の観点に基づいた計画的な保全、この2点を柱とした中期整備指針等に基づき施設整備を行う。	○	○		○	【①川岡】 屋外倉庫・外構工事（完了） 【②屋島】 仮事務所解体工事設計（着手） 【③十河】 改築工事（着手） 【④男木】 改築工事（完了） 【⑤川島】 埋蔵文化財調査（完了）、建設工事（着手） 【⑥トイレ男女別化改修工事】 屋島西、檀紙、木太北部（完了）	コミュニティセンター 中期整備指針等に基づ く整備箇所	1施設（太田コミ）	1施設（男木コミ）	A	無	中期整備指針等に基づき、計画的な整備を行い、地域のまちづくり拠点づくりに努めることができた。	地域振興課	
96	VI	2	(1)	生涯学習推進員養成研修	市	コミュニティセンター職員などの生涯学習推進員を対象に、生涯学習に関する知識・技能の向上を図るための講座を開催する。	○				コミュニティセンター職員などの生涯学習推進員を対象に、生涯学習に関する知識・技能の向上を図るための各種講座を開催した。	生涯学習推進員数および参加者数	274人 (7回開催)	201人 (6回開催)	B	有	新型コロナウイルス感染症防止対策のため、中止となった講座があったが、昨年度と同程度の参加者数で講座を開催した。今後も引き続き生涯学習推進員を対象とした各種講座を開催し、更なる知識・技能の向上につなげる。	生涯学習センター	
97	VI	2	(1)	図書館等資料整備事業	市	図書館サービスの向上、機能強化等を図るため、各種資料（図書・雑誌・新聞・AV資料等）・情報の収集・提供を行う。 また、図書館に来館することなく、新しい生活様式に対応した形で読書を楽しむ電子図書館サービスを開始する。				○	○	図書館サービスの向上、機能強化等を図るため、各種資料（図書・雑誌・新聞・AV資料等）・情報の収集・提供を行った。 また、電子図書館サービスを開始し、約2,100タイトルの電子書籍の提供を行った。	資料整備費	64,782,181円	69,511,805円	A	無	令和3年度から電子図書館サービスを開始したことにより、実績は増加した。 今後においては、新しい生活様式においても読書を推進するため、電子書籍と紙の本のそれぞれの特徴となる部分を生かして補完しながら、市民に魅力ある読書を提供していく。	中央図書館
98	VI	2	(1)	移動図書館事業	市	移動図書館車3台で、図書館の利用が困難な校外地域88ステーションを巡回し、図書等の貸出サービスを実施する。				○		新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、図書を選ぶ経路を一方通行にしたほか、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策として、車内の利用人数を少人数に制限して実施した。また貸出返却時の対応の距離を取り、消毒も徹底して行った。	図書等の貸出数	97,719冊	107,039冊	A	有	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として小学校等に3密防止を依頼しながら実施した結果、貸出冊数は対前年比10%の増であった。 令和4年度も引き続き新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施する予定。	中央図書館
99	VI	2	(1)	レファレンスサービス	市	図書館所蔵の資料等を調べ、利用者からの問合せ調査の回答や学習に必要な資料の紹介等を行う。				○		図書館所蔵の資料等を調べ、利用者からの問合せ調査の回答や学習に必要な資料の紹介等を行った。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として一時期長時間を要するレファレンスは中止した。	図書館に問合せのあったレファレンス件数	11,912件	12,268件	A	有	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として一時期長時間を要するレファレンスは中止した。 令和4年度も新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見ながら、場合によっては長時間を要するレファレンスは中止せざるを得ない。	中央図書館

高松市生涯学習事業推進状況一覧表

No	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	重点項目 別紙1参照 (23ページ)				R3年度事業内容 (実績)	評価指標				成果と 今後の課題	課名	
							ア	イ	ウ	エ		指標名	令和2年度 実績	令和3年度 実績	評価			※新型コロナ ウイルス感染 症の影響
100	VI	2	(1)	図書のインターネット予約サービス	市	図書館利用者カードの所有者を対象に、図書館ホームページからインターネット蔵書予約等を行う。			○		図書館利用者カードの所有者を対象に、図書館ホームページからインターネット蔵書予約等を行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため図書館を休館した時は、予約サービスを停止した。	インターネットでの蔵書図書等の予約件数	273,236件	300,564件	A	有	新型コロナウイルス感染症拡大のため一時期予約サービスを停止したが、来館して探すことより、ホームページで本を予約する人が増えたため、実績は増大している。	中央図書館
101	VI	2	(1)	センター利用促進事業	市	幅広い年齢層の市民が気軽に利用できるようコンサートや映画上映会のほか、関心の高い趣味・教養分野の講座を開催する。			○	○	幅広い年齢層の市民が気軽に利用できるよう映画上映会のほか、英会話など関心の高い趣味・教養分野の講座を開催した。	市民の関心の高い講座や映画会の参加者数	1,023人	1,022人	B	有	新型コロナウイルス感染症防止対策のため、中止となった講座があったが、昨年度と同程度の参加者数で講座を開催した。今後も、幅広い年齢層の市民が気軽に参加しやすい講座の開催を検討する。	生涯学習センター
	VI	1	(1)															
102	VI	2	(1)	本のソムリエ派遣事業	市	図書館司書(本のソムリエ)を派遣し、図書館の仕組みや便利な使い方、本の上手な探し方などを周知する。	○				団体等からの要請に応じ、図書館司書(本のソムリエ)の派遣を6回実施した。	ソムリエの派遣回数	5回	6回	A	有	昨年度と比較して派遣数は増えているが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で「コロナ前」と比較して減少しており、「コロナ後」における新規派遣希望団体の確保が課題となっている。	中央図書館
	VI	1	(1)															
103	VI	-	-	図書館図書市民一人あたり貸出冊数(年間)	市	-			○		市民の教育・文化の情報拠点として市民に役立つ図書館づくりを目指し、多くの方に利用していただいたが、一時期新型コロナウイルス感染症拡大に伴い閉館時間を早め、一部図書館については休館した。	図書館図書市民一人あたり貸出冊数(年間)	5.9冊	6.1冊	A	有	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、図書館の開館時間を短縮した昨年度は、休館や閲覧等のサービスを停止した令和2年度と比べると、貸出冊数は増加した。今後も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら利用者数を増やしていくのが課題である。	中央図書館